

2026年度中完成予定

標準型電子カルテ（導入版）

紙カルテや現行の電子カルテの業務はそのままに、
国の医療DXに対応できるようになります！

現在、開発中の医科無床診療所向けの標準型電子カルテ（クラウドネイティブ）の中で、国の医療DX対応機能に限定した「導入版」を開発中です。
2026年度中の完成を目指しています。

電子カルテ情報共有サービスを利用する病院や診療所からの「診療情報提供書」や「検査データ」等を本システムから閲覧可能になります。※



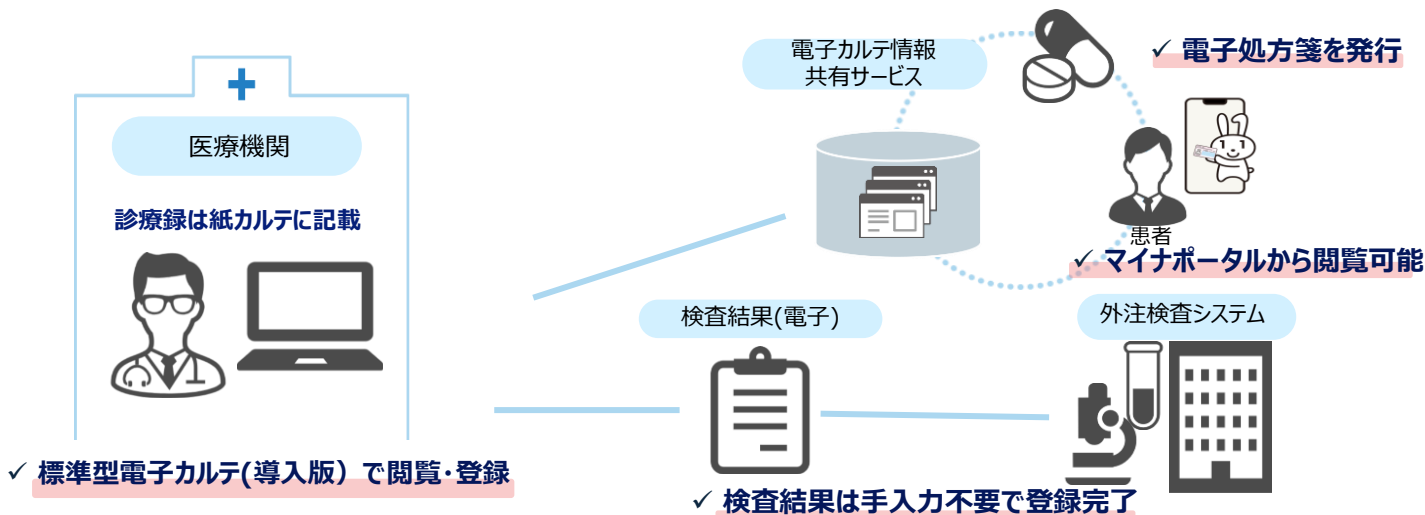
本システムに情報入力すれば、「診療情報提供書」を病院や診療所に送付することや、「電子処方箋」の発行が可能になります。



本システムと外注の検査機関を連携することで、自院の「検査データ」を国の電子カルテ情報共有サービスに簡単に登録できます。



※ 電子カルテ情報共有サービスについては、現在、地域でモデル事業を実施しています。

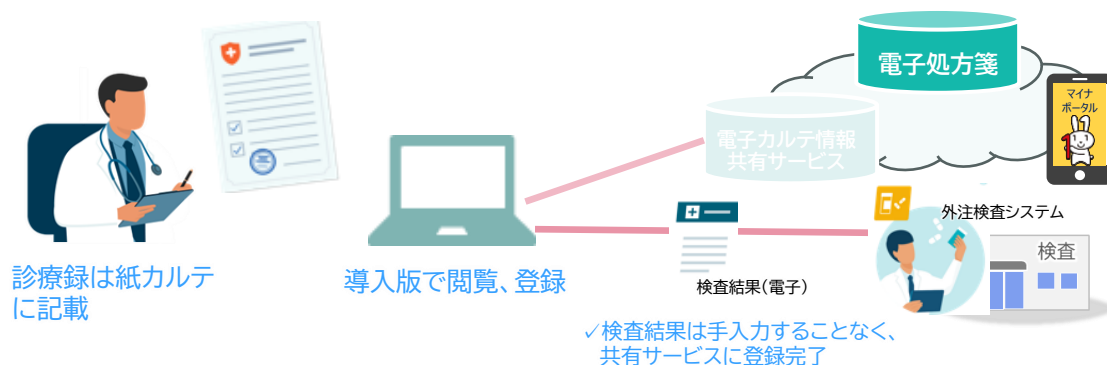


現在、開発中の医科無床診療所向けの標準型電子カルテ(クラウドネイティブ)の中で、国の医療DX対応機能に限定した「導入版」を開発中です。2026年度中の完成を目指しています。

標準型電子カルテ(導入版)のコンセプト

医療DX対応を中心とした画面構成で、クリック操作を主とする感覚的に使いやすいシンプルな画面設計です。紙カルテや現行の電子カルテの業務はそのままに、国の医療DXに対応できるようになります:

- 電子カルテ情報共有サービスを利用する病院や診療所からの「診療情報提供書」や「検査データ」を本アプリから閲覧可能になります。 ※
- 本アプリに情報を入力すれば、「診療情報提供書」を病院や診療所に送付することや、電子処方箋の発行が可能になります。
- アプリと外注の検査機関を連携することで、自院の「検査データ」を国の電子カルテ情報共有サービスに簡単に登録できます。



▶ 標準型電子カルテ(導入版)完成後、地域の医科診療所の電子カルテ等のシステム提供事業者と連携し、医科診療所における一体的な普及を推進する。